

テーマ	3級の精算表（基本）
-----	------------

次に示した、(1) 決算日までに判明した未処理事項、および(2) 期末整理事項にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間である。

(1) 決算日までに判明した未処理事項

1. 決算直前に得意先八王子商店に販売した商品に品違いがあり、原価 ¥150,000（売価 ¥205,000）の商品が返品されてきたが、この取引が処理されていなかった。この返品分については、同店に対する売掛金と相殺することとした。
2. 得意先から受け入れていた約束手形 ¥350,000 を買掛金支払いのため、仕入先高尾商店に裏書譲渡していたが、この取引が処理されていなかった。
3. 出張中の社員から当座預金口座へ振り込まれた ¥280,000 については、仮受金で処理していたが、¥180,000 については得意先文京商店に対する売掛金を回収したものであり、¥100,000 については得意先茗荷谷商店から受領した手付金であることが判明した。

(2) 期末整理事項

1. 受取手形および売掛金の期末残高に対して3%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
2. 売買目的有価証券の時価は ¥3,050,000 である。時価法により評価替えをする。
3. 期末商品の棚卸高は ¥783,000 である。なお、この期末商品棚卸高には、(1) 決算日までに判明した未処理事項における返品分は含まれていない。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
4. 建物および備品については定額法により減価償却を行う。

建物	耐用年数 30 年	残存価額：取得原価の 10%
備品	耐用年数 5 年	残存価額：取得原価の 10%
5. 借入金は、平成24年12月1日に借入期間9ヶ月、年利率5%の条件で借り入れたもので、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。利息については月割り計算による。
6. 保険料は、全額建物に対する火災保険料を6月1日に向こう1年分支払っている。
7. 消耗品の期末未消費高は ¥12,290 である。
8. 家賃の未収分が ¥87,000 ある。

テーマ	3級の精算表（基本）
-----	------------

精 算 表

勘定科目	試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,127,000							
当座預金	2,913,000							
受取手形	1,509,000							
売掛金	1,649,000							
売買目的有価証券	2,850,000							
繰越商品	878,000							
未収金	130,000							
建物	12,000,000							
備品	900,000							
支払手形		988,000						
買掛金		1,220,000						
借入金		3,000,000						
前受金		315,000						
仮受金		280,000						
貸倒引当金		64,000						
建物減価償却累計額		3,600,000						
備品減価償却累計額		324,000						
資本金		9,500,000						
売上		18,794,000						
受取家賃		872,000						
仕入	13,152,000							
給料	936,000							
支払地代	240,000							
旅費交通費	267,000							
通信費	182,000							
消耗品費	66,000							
保険料	120,000							
雑費	23,000							
支払利息	15,000							
	38,957,000	38,957,000						
貸倒引当金繰入								
有価証券評価()								
減価償却費								
()								
() 保険料								
() 利息								
() 家賃								
当期純()								